

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価
施設評価シート
子育てセンターすぎのこ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 6年 2月 15日 10:00 ~11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自然いっぱい、笑顔いっぱい、生き生きとあそぶ子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

1. 職員の自己実現に向け、その資質や専門性をより発揮させるため、今以上の人材育成と能力開発に取り組みます。
～わらべうたやふれあい遊び、集団遊びが伝承できるよう取り組んでいきます～

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
3・・・ほぼ達成されていた
2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	グランドデザインは職員や保護者から見える場所に掲示してあり意識することができた。わらべうたやふれあい遊び、集団遊びについては、各プロジェクトごとに話し合い、子ども達に様々な遊びを提供したり、様子を園だよりで発信したりすることができた。	4	掲示、園だより、クラスだより、ブログ等で、よく伝わっていた。今後、職員の負担にならないよう取り組んでいって欲しい。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	子ども達の姿に合わせて月案等の指導計画を作成し、興味や関心・意欲がわくような絵本や玩具、保育室の装飾等の環境を整えて遊びを展開することができた。日々の教育・保育を各クラスごとに振り返りをしたり、職員会議等の場で職員同士が話し合ったりして情報共有することができた。	4	わらべうたやふれあい遊び、集団遊びについて職員間で話し合い、計画を立てて考えながら取り組んでいることが報告を聞いて知ることができて良かった。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	一人ひとりの姿を受け止めながら、年齢や月齢、発達に合わせて無理なくゆったりと過ごせるように配慮することができた。園周辺の豊かな自然に触れ、存分に遊ぶ経験ができていた。	4	日頃の送迎時、ファミリニック、参観会での様子を見た中で、職員が付けた評価が妥当だと感じた。
IV. ファミリーにとっては 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	3	普段から送迎時に相談を受けたり、懇談会や面談で話す時間や、保育参加やブログで子どもの様子を見てもらう機会が持てた。感染症対策で参加できる人数を制限することもあったため、十分ではなかった。	4	人数制限等の感染症対策については、どうしようもないことであり、十分に園として職員も取り組んでいると感じる。
V. 地域にとっては 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	4	行事を通してボランティアを招き、地域の方と触れ合う機会を作ることができた。中・高校生が小さい子と触れ合う場があり、子どもに対して親しみを深める機会となっていた。子育てで通信てんぐの発行や一時保育、支援ひろばでは、子育ての悩み相談できる機会をつくることができた。	4	地域の方が参加する活動や行事がたくさんあることを知った。支援ひろばに來園した地域の方には在園児と一緒に行うリズムを通してふれあい遊び等に参加しているのがわかった。
VI. スタッフにとっては 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	4	専門性を高めるために研修に参加し、教育・保育の知識や技能を身につける機会が持てた。自分の得意分野を活かしながら子ども達と一緒に遊びや活動を楽しむことができた。できるだけ業務時間内に仕事が終われるような体制作りをし、業務改善を検討していった。	4	教育・保育の質を落とすことなく業務改善をしていくことは難しく大変だと思う。行事の見直しや手紙の配信等、時代の流れとしては改善して良いと思う。仕事のやりがいや楽しさ、面白みが伝わり人材確保等に繋がって欲しいと願う。